地域活性化に独自の活動

新スタイルの市長選討論会主催など

社団法人小田原青年会議所（小田原ＪＣ）

社団法人小田原青年会議所（小田原ＪＣ、古川大司理事長）では、自分たちの住む地域をよりよくし、「明るい豊かな社会」の実現を目指して、日々さまざまな活動を実施。その内容は小田原ブランドの発信や、「小田原 Soul Food Festival」「地球祭」などのイベント開催、著名人を招いての講演会開催、子供たちに向けての報徳理解・防災理解・国際理解などの各教室開催など、多岐にわたる。こうした活動の中で同会議所は、来月行われる小田原市長選挙に向け、市民により多くの関心を持ってもらおうと、公開討論会を企画した。その概要を伝える。

左から小田原ＪＣの古川理事長と室伏さん

公開質問やクイズ形式で

市政に興味を持つきっかけに

市民会館大ホールで 26日

小田原ＪＣが主催する小田原市長選の立候補予定者による公開討論会は、26日、小田原市民会館大ホールで開かれる。参加無料で午後7時開会（6時半開場）、定員は１０００人（先着順）。

市長選には現職と新人合わせ3氏が立候補を表明している。

出馬表明順に市議会議員の大野眞一（同市中曽根）、現職で再選を目指す加藤憲一（同市城山）、元市議会議員の鈴木美伸（同市早川）の3氏。いずれも無所属。

公開討論会には大野氏と加藤氏が出席する予定。

当日会場では、各立候補予定者の政策アピールを聞くほか、小田原の観光や産業などに関する問題に「YES」「NO」で答えるクイズ方式で話題を展開。

会場に集まった市民にもクイズに参加してもらい、市政に対する興味をより深めてもらう。同時に、それぞれのクイズに関連した内容について、各立候補者の考えも聞いていく。これまでにない、工夫を凝らした討論会となる見込みだ。

また、討論会での質問事項を市民からも募集し、当日の公開討論の様子は、ユーストリーム（パソコンのインターネットで閲覧できる放送）で生中継されるという。

討論会の企画を担当した小田原ＪＣの室伏菊寿さんは「立候補予定者がただ政策発表の場とするだけでなく、考え方をぶつけあう討論会にしたい」といった考えで、今回の内容を決定。「（選挙や市政について）もっと多くの市民に関心を持ってほしい。この討論会が、少しでも興味を持っていただくきっかけになれば―」としている。

討論会での質問の応募用紙は事務局（同市本町）の窓口でもらえるほか、ホームページ（http://www.odawara-jc.or.jp/）でダウンロードすることもできる。応募の締め切りはきょう20日。問い合わせは小田原ＪＣ（☎０４６５―２２―６３８１）へ。

小田原の未来を考え 投票に行ってほしい

小田原への思いを語る古川理事長

26日の討論会を前に、小田原ＪＣの古川理事長は、このほど弊社を訪れ、同討論会の運営についての経緯と意気込みを次のように語った。

「市長選立候補予定者の討論会を小田原ＪＣでやるのは前回（４年前）の市長選に次ぎ２度目。前回選挙は約54％という投票率で、およそ半分の市民が投票に行かない状況でした。そうした中で、「自分たちのまちは自分たちでつくるんだ」という気持ちを多くの市民の皆さんに持っていただきたいと思い、今回の討論会を企画しました。

たとえば海外、イギリスなどと比較すると、選挙の投票率は、国民全体では日本のほうが高いのですが、30歳以下の投票率はイギリス52％に対し日本は33％と低く、若者の政治離れが進んでいます。そこで小田原ＪＣでは、インターネットの『e―みらせん』というサイトで市長選立候補予定者の動画を配信したり、討論会当日もユーストリームで生中継するなどして、忙しくて時間がない人、ネットが得意な若い人などに見ていただけるようにしています。これらを通じてより多くの人に今回の市長選に関心を持っていただき、自分の意志で小田原の未来を考えて、投票に行っていただきたいですね」

約8万人の市民が選挙に行かない
それでよいのでしょうか？

JCI

小田原市長選挙

公開討論会

日時　4月26日（木）
開場　18時半　開会　19時より
場所　小田原市民会館
大ホール　定員　1000名（先着順）

討論会での質問募集
立候補予定者への質問をメール又はＦＡＸにて募集しております。詳しくは裏面をご覧ください。
mail:kouka0426@odawara-jc.or.jp
FAX:0465-22-8200

公開討論会をUSTREAMにてご覧いただけます。
http://www.ustream.tv/user/Odawara-JC

e-みらせんの配信
立候補予定者達の生の声を配信するWEBシステムです。
http://www.e-mirasen.jp/

お問合せ
主催：社団法人　小田原青年会議所
TEL:0465-22-6381 FAX:0465-22-8200
http://www.odawara-jc.or.jp/　http://www.facebook.com/odawarajc

【討論会の趣旨】
公開討論会を通し、政治に対し無関心な市民が政治に触れる機会を創出することで、施政が生活に変化と影響を及ぼすことができることを再認識し、一人でも多くの市民が積極的な政治参画つまり投票行動に結びつくことを目指す。
※討論会の進行は、青年会議所選定のコーディネーターが行う

【討論会の進行スケジュール】
開会（午後７時）
＊各立候補予定者の自己紹介＆挨拶
＊テーマ設定別討論
１地域活性化・産業について
　○×クイズと、コーディネーターを介したクロストーク
２教育・青少年・少子化について
　○×クイズと、コーディネーターを介したクロストーク
３観光について
　○×クイズと、コーディネーターを介したクロストーク
＊会場内質問回答
＊最後のメッセージ
閉会（午後９時）

【討論会でのおもな注意事項】
客席からの立候補予定者への直接の質問等はご遠慮ください。また、次のような行為はおやめください。
①立候補予定者の発言を妨げるような言動
②開会時、閉会時及び司会者が促した時以外の拍手
③特定の立候補予定者のイメージに関わる行為（プラカードの掲示や宣伝活動、おそろいの衣服など）
④個人を特定する資料等の配布

【青年会議所とは？】
1949年、明るく豊かな社会の実現を理想とし、次代のリーダーとなる責任感をもって、お互いに切磋琢磨しようという情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（Junior Chamber）運動は始まりました。共に向上し合って、社会に貢献しようという理念は瞬く間に全国に拡がり、各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本ＪＣ）が設けられました。現在、全国に745の青年会議所があり、約５万4000人の会員が、ＪＣ運動の三つの信条「奉仕・修練・友情」のもと、民主主義を守り、自由経済体制の確立による、よりよい社会づくりをめざして、ボランティアやまちづくりから、行政改革、地方分権などの社会的課題に積極的に取り組んでいます。

【青年会議所の特性】
青年会議所には個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

【小田原ＪＣからのメッセージ】
～地域を変えよう。そして、この国を変えよう。～
私たちは、自分たちの地域を良くしていこうと日々活動している団体ですが、この地域をより良くしていくためには、一人でも多くの地域の方に私たちの活動を知ってもらわなければなりません。さらに、一緒に活動してくれる人が一人でも多くなれば、私たちの理想とする『明るい豊かな社会』の実現により近づいていくと信じています。
いつの日か『明るい豊かな社会』が実現し、私たちのような団体が必要なくなる日まで、私たちは走り続けます。

小田原ＪＣホームページより
http://www.odawara-jc.or.jp/2012/index.htm